

		科目コード	315
科目名	感染制御学演習 (Seminar on Infection Control and Disease Prevention)	選択区分	選択
単位数 (時間)	2 単位 (60時間)	履修時期	1 後
担当者	北尾 孝司		
授業概要	病院内感染の原因微生物における病原性遺伝子および耐性遺伝子に関して近年話題の論文を用いて教授する。		
授業目標	感染制御学特論で学習した内容に沿った国内外の英語論文を各自が調査・分析し、抗菌薬に対する薬剤耐性因子・薬剤耐性機構および分子疫学調査の方法などについて考察し最新の研究手法や研究成果などについて発表することを通して、演習を通じて感染制御に関する知識を深める。さらに医療現場において感染制御についての問題点を解決する方法を提案できる能力を養うとともに臨床検査室に於ける感染制御のリーダーとなれるようにする。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容
1	病院内感染の動向	病院内感染に関する近年の動向と研究の方向性について
2～6	病院内感染を起こす微生物	近年話題の病院内感染を起こす微生物に関する論文の読解と討論
7～10	病原性遺伝子	病院内感染の原因微生物における病原性遺伝子に関する論文の読解と討論
11～14	薬剤耐性遺伝子と耐性機構	抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子に関する論文の読解と討論
15～18	カテーテル関連の血流・尿路感染症	カテーテル関連の血流・尿路感染症に関する論文の読解と討論
19～24	薬剤耐性菌の迅速検査法・遺伝子学的検査法	薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法に関する論文の読解と討論
25～28	疫学調査方法	施設内感染における分子疫学マーカーによる発生源の疫学調査方法に関する論文の読解と討論
29・30	まとめ	感染制御に関する研究課題のまとめと研究の方向性の明確化
成績評価方法	口頭試問 (50%) 及びレポート (50%) の割合で評価する。	
必携あるいは参考図書・文献	J Clinical Microbiology, J Bacteriology, J Hospital Infection, J Infectious Diseases など欧米の科学雑誌の論文を参考にする	
備 考	感染制御学特論の履修を前提とする	